

第9回 富山県
地域年金事業運営調整会議
(ご意見及び課題への対応)



令和3年3月

富山年金事務所

余 白

第9回 富山県地域年金事業運営調整会議

	ご意見等	今後の対応・方針
令和2年度 取組実績	<p>令和2年度はコロナ禍にあったため、様々な制約を受け、特に対面による事業は大きな影響を受けたと思われるが、その中においてもできる範囲での取り組みが実施できたと思う。</p> <p>年金は大切な生活の柱となることを、引き続き伝えていってほしい。</p>	<p>地域、教育、企業等において、公的年金制度に対する理解をより深めていただけるよう、今後も各事業に取り組んでまいります。</p>
これまでの会議 に出た意見・課題への対応	<p>対応中の項目が多い。</p> <p>令和3年度は、実施可能なものに優先順位をつけ、具体的な目標数値を定めて取り組んでほしい。</p>	<p>令和3年10月（目途）より、年金制度説明会・年金セミナー等のオンライン開催が可能となることも踏まえ、年金セミナーについては、各種学校、各支援団体、PTA等へ積極的にアプローチを行い、実施に向け取組強化を図ってまいります。</p> <p>また、年金委員委嘱拡大につきましても、引き続き健康保険委員のみ設置事業所、新規適用事業所への勧奨および社労士会への会員への勧奨協力依頼を行ってまいります。</p>
令和3年度 事業計画	<p>富山県のエッセイ募集状況が低下したままである。学校等への働きかけを工夫して進めてほしい。</p> <p>withコロナがNewノーマルとなる時代です。オンライン配信やDX（デジタルトランスフォーメーション）による業務の進め方を検討されるのもよいのではないかと。</p>	<p>毎年、県代表年金事務所から教育委員会や各校長会に出向き夏休みの宿題等に入れていただくよう中学校および高校の校長先生方に依頼し、管轄年金事務所からは各学校へ依頼文書を送付しているところですが、応募が全くない状態が続いています。</p> <p>令和3年度は各学校への依頼文書を送付したのちに、教頭先生等へ電話（可能であれば訪問）でエッセイと年金セミナー開催について直接働きかけ、夏休みの宿題（選択できる場合は選択肢の中に入れてもらうなど）や授業の中の課題への組み込みを依頼するなど、取組強化を図ってまいります。</p> <p>令和3年10月より年金制度説明会・年金セミナー等のオンライン開催が可能となる予定です。</p> <p>DXによる業務検討については、機構本部における取組事業となりますので、ご意見を機構本部へ報告させていただきます。</p>